

新型転換炉ふげん発電所の固体廃棄物処理系配管の取替えに伴う  
第 20 回定期検査期間の変更について

1. 固体廃棄物処理系フィルタスラッジ貯蔵タンクの漏えい原因調査結果

(1) 経緯

平成 18 年 11 月 15 日、定期検査中の固体廃棄物処理系 A-フィルタスラッジ貯蔵タンクの外観点検において上澄液出口配管に漏えいした跡を発見しました。付着物の放射エネルギーは 700Bq 程度であり、80～90cc 程度の漏れであったと推定されます。

【平成 18 年 11 月 17 日週報にて報告済み】

(2) 調査結果と対策

原因は当該配管(炭素鋼)の内面全体に生成された酸化膜が局所的にはがれ、この部分から電池腐食が進展し、その結果、貫通孔に至り漏えいが発生したものと推定されます。また、B-フィルタスラッジ貯蔵タンクの上澄液出口配管にも同様の漏えい跡が発見されました。

対策として、漏えいの認められた A、B-フィルタスラッジ貯蔵タンクその他、類似の A、B-粒状廃樹脂貯蔵タンク及び粉末廃樹脂貯蔵タンクの上澄液出口配管について耐食性に優れたステンレス鋼の配管に取替えます。

また、その他の固体廃棄物処理系の炭素鋼配管については計画的に肉厚測定を行い、その結果を踏まえ配管の取替えの検討をしていきます。

2. 第 20 回定期検査期間の変更

固体廃棄物処理系の配管取替えに伴い、第 20 回定期検査の完了期日を平成 19 年 3 月末から平成 19 年 5 月末に変更します。

3. 添付資料

添付資料 - 1 A-フィルタスラッジ貯蔵タンク上澄液出口配管調査結果及び固体廃棄物処理系の配管取替え範囲図

添付資料 - 2 第 20 回定期検査工程表

以上

図-1 A-フィルタスラッジ貯蔵タンク上澄液出口配管調査結果

配管外面状況



横約2mm×縦約1.5mm深さ3mmの孔食

約4.5mm×約4.5mmの腐食

配管内面付着物除去後



貫通孔  
疲労破面や割れの痕跡は  
認められなかった。

付着物を除去したところ、孔食の周囲  
は黒錆が強固に付着していた。

原因は、当該配管(炭素鋼)の内面全  
体に生成された酸化膜が局所的には  
がれ、この部分から電池腐食が進展  
し、その結果、貫通孔に至り漏えいが  
発生したものと推定される。

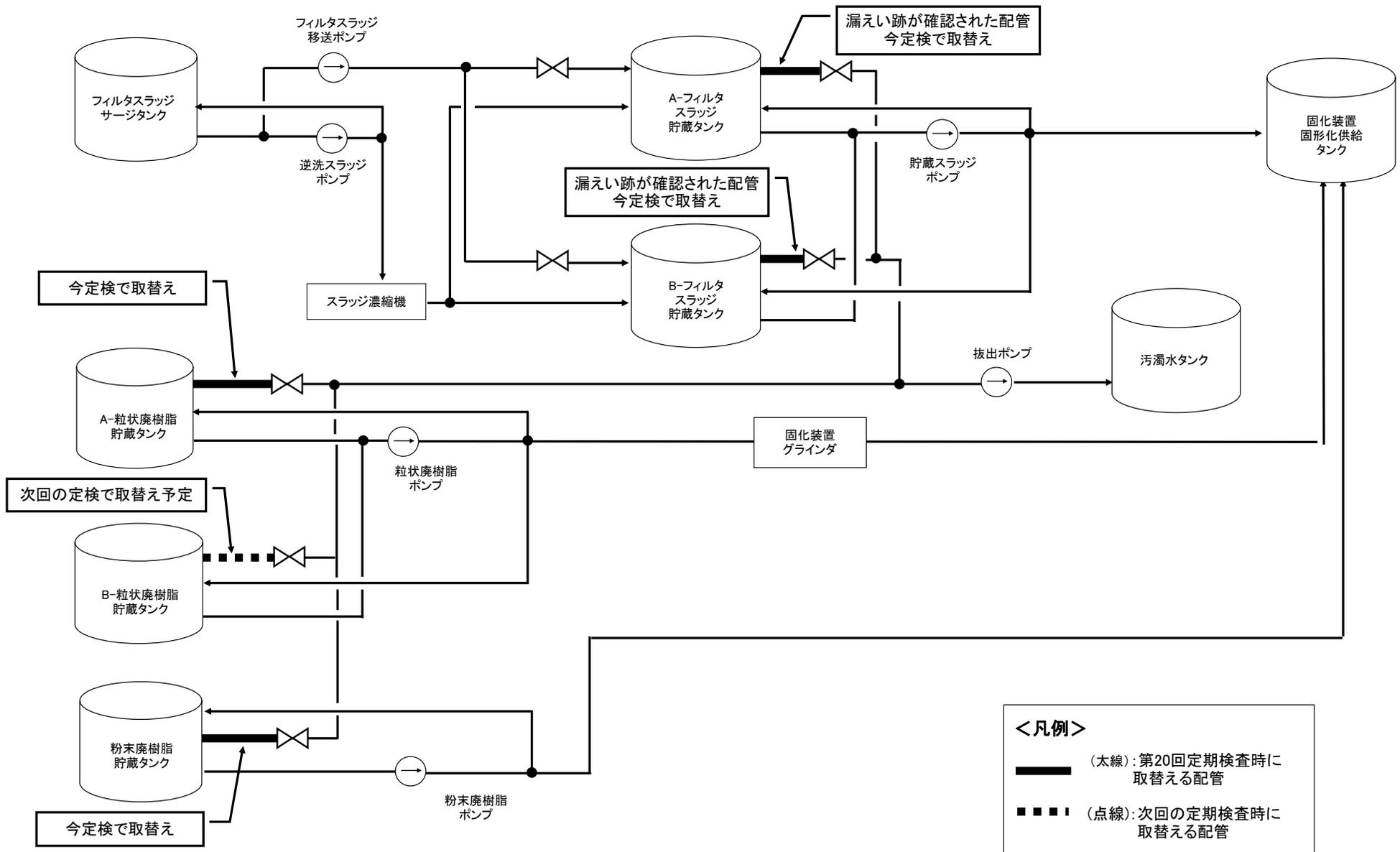


図-2 固体廃棄物処理系の配管取替え範囲図

# 新型転換炉ふげん発電所 第20回定期検査工程表

凡例： ■ 実績 □ 計画 ▨ 変更

項目	平成18年				平成19年						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
主要工程	29 ▼定期検査開始	■								▨	▼定期検査終了予定
原子炉本体					カソード点検	■					
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設			使用済燃料貯蔵設備点検	■		プール水冷却浄化系点検	■				
原子炉冷却系統施設						余熱除去系点検	■				
						原子炉補機冷却系点検	■				
原子炉補助系統施設					重水系点検	■					
計測制御系統施設				制御用空気圧縮設備点検	■						
放射性廃棄物の廃棄施設			液体・固体廃棄物処理系点検	■	■						▨
放射線管理施設		放射線管理用計測装置点検	■	■							
				建屋換気系点検	■						
原子炉格納施設							原子炉格納施設点検	■			
非常用電源設備		直流計装用電源点検	■		非常用ディーゼル発電機点検	■					